

D 世界史問題

注意

1. 試験開始の指示があるまでこの問題冊子を開いてはいけません。
2. 解答用紙はすべて**HBの黒鉛筆**または**HBの黒のシャープペンシル**で記入することになっています。HBの黒鉛筆・消しゴムを忘れた人は監督に申し出てください。(万年筆・ボールペン・サインペンなどを使用してはいけません。)
3. この問題冊子は**8ページ**までとなっています。試験開始後、ただちにページ数を確認してください。なお、問題番号はI・IIとなっています。
4. 解答用紙にはすでに受験番号が記入されていますので、出席票の受験番号が、あなたの受験票の番号であるかどうかを確認し、出席票の氏名欄に**氏名**のみを記入してください。なお、出席票は切り離さないでください。
5. 解答は解答用紙の指定された解答欄に記入し、その他の部分には何も書いてはいけません。
6. 解答用紙を折り曲げたり、破ったり、傷つけたりしないように注意してください。
7. この問題冊子は持ち帰ってください。

マーク・センス法についての注意

マーク・センス法とは、鉛筆でマークした部分を機械が直接よみとって採点する方法です。

1. マークは、下記の記入例のようにHBの黒鉛筆で枠の中をぬり残さず濃くぬりつぶしてください。
2. 1つのマーク欄には1つしかマークしてはいけません。
3. 訂正する場合は消しゴムでよく消し、消しきずはきれいに取り除いてください。

マーク記入例：

A	1	2	3	4	5
	○	○	●	○	○

 (3と解答する場合)

I. 次の文を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

歴史上、人類に甚大な被害を与えた伝染病の1つにペストがある。古代ギリシアでは、あしかけ（イ）年間にわたったペロポネソス戦争の最中に、アテネで伝染病が流行し、民主政の指導者で將軍のペリクレスが死亡した。彼を病死させたのはペストであったという説があるが、今日では異説もでて²⁾いる。ビザンツ帝国では「ユスティニアヌスの疫病」³⁾といわれるペストの大流行があつて、当代の歴史家によると、コンスタンティノープルでは1日に数千人もの死者が出たという。その後ヨーロッパでは、幾度もペストの流行があり、それは8世紀末まで続いた。

黒死病がペストであったかどうかについては諸説あるが、それが大流行し、ヨーロッパ全土で多数の人命を奪ったのは14世紀のことである。従来の有力な学説によると、その背景には、（ロ）年にチンギス=ハンにより建国されたモンゴル帝国の東西にわたる征服活動や、ルイ9世の命により派遣されたフランチェスコ修道会士くあによるモンゴルの当時の首都くい訪問にみられるような東西交流の活発化があり、東西の交易路のつて黒死病が西方に伝播したことがあるとされている。このときの黒死病の原発地は中央アジアやヒマラヤ地方と考えられていて、その病原菌は隊商路上をサマルカンド、タブリーズをへて、クリミア半島に侵入した。そして1340年代後半には、黒死病は地中海を航行する船舶によりイタリアやフランスに運ばれ、その後ヨーロッパ大陸に蔓延した。⁵⁾

このとき多数の人命を奪われたイタリアでは、『（ハ）』の作者ペトラルカの妻も黒死病に感染して死亡した。フィレンツェの作家くうが書いた『デカメロン』は、このときの黒死病を避けるために郊外の別荘に避難した人々の物語である。フランスでは、パリにある王国の最高司法機関の多数の司法官が、やはり黒死病のためにこの世を去った。⁶⁾他方、この疫病の原因についての誤った風説が流布し、ジュネーヴやストラスブールなどではユダヤ人の大量虐殺が行われた。

⁷⁾その後も黒死病は世界各地で散発的に流行したが、次第に下火になっていったのに対して、（ニ）年にルイ13世が腸結核ともみられる病気で亡くなったように、結核で死亡する人は後を絶たず、それは19世紀になると、大流行したコレラとともに、同世紀の主要な伝染病になった。⁸⁾

しかしそれらの伝染病も、天然痘がイギリスの医師くえが開発した種痘法の普及により近年に制圧されたように、1882年から1883年に結核菌とコレラ菌を発見したコッホをはじめとする細菌学者による医学研究の成果と公衆衛生の改善により、その予防と治

¹⁰⁾

療がすすんでいった。

A. 文中の空所(イ)～(ニ)にあてはまる適当な語句または数字を、それぞれ対応する次の a～d から 1 つずつ選び、その記号をマークせよ。

- | | | | | |
|-----|---------|---------|---------|---------|
| (イ) | a. 28 | b. 38 | c. 48 | d. 58 |
| (ロ) | a. 1194 | b. 1206 | c. 1229 | d. 1236 |
| (ハ) | a. 叙情詩集 | b. 神曲 | c. 新生 | d. 随想録 |
| (ニ) | a. 1574 | b. 1610 | c. 1643 | d. 1715 |

B. 文中の空所(あ)～(え)それぞれにあてはまる適当な語句をしるせ。

C. 文中の下線部 1)～10)それぞれに対応する次の問 1～10)に答えよ。

1. コス島出身で、紀元前 5～前 4 世紀に科学的態度をもって伝染病に対する「西洋医学の祖」といわれるギリシアの医師の名をしるせ。
2. ペリクレスと親交があり、パルテノン神殿のアテナ女神の像をつくった彫刻家を、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
a. エウリピデス b. フェイディアス
c. プラクシテレス d. ヘラクレイトス
3. ユスティニアヌス帝は、かつて地中海沿岸のほぼ全域を支配したローマ帝国の復活をはかった。彼の治世下のビザンツ帝国によって 555 年に征服された王国を、次の a～d から 1 つ選び、その記号をマークせよ。
a. ヴァンダル王国 b. 東ゴート王国
c. ブルグンド王国 d. ランゴバルド王国
4. チンギス=ハンの子孫たちによって樹立された次のハン国 a～c のうち、樹立された時期がもっとも古いものを解答欄の i に、2 番目に古いものを ii に、3 番目に古いものを iii に、1 つずつ選び、その記号をマークせよ。
a. イル=ハン国 b. キプチャク=ハン国 c. チャガタイ=ハン国
5. この黒死病の大流行は、それ以前から起こっていた大飢饉と相俟って、中世末期の封建制の危機を生じさせる一因になった。そのなかで、イギリスやフランスでは、人手不足と貨幣経済の浸透に対応して収入を確保するために、農奴を解放し、直営地から収入を得る方法を変更する荘園領主があらわれた。彼らは直営地の経営形態をどのように変更したのか、1 行でしるせ。

6. 国王の勅令を登録する権利をもち、フロンドの乱で王権に対する貴族の抵抗の拠点になったこの最高司法機関の名をしるせ。
7. 19世紀から20世紀にかけてのロシアでもユダヤ人に対する掠奪や虐殺が起こった。それはロシアで何といわれるか、その名をしるせ。
8. 1831年にコレラで急逝したヘーゲルが唱えた哲学を、次の a～d から 1つ選び、その記号をマークせよ。
 - a. 功利主義哲学
 - b. 実証主義哲学
 - c. 実存哲学
 - d. 弁証法哲学
9. この年に、ドイツの宰相ビスマルクが社会政策の一環として成立させた保険制度の名をしるせ。
10. 1920年代末にイギリスの細菌学者フレミングにより発見され、のちに臨床に応用された最初の抗生物質の名をしるせ。

Ⅱ. 次の文1～5を読み、下記の設問A～Cに答えよ。解答は解答用紙の所定欄にしるせ。

1. モスクワ大公国の台頭から、ロシア帝国、そして20世紀の半世紀以上にわたり存続したソ連へと繋がるロシア史の諸問題は、ロシア文学や音楽はもちろんのこと、その強力な中央集権国家としてのロシアという国¹⁾を理解する上で無視することはできない。莫大な資源を秘め、延々と続く広大で厳しい自然を抱える同国ならではの歴史である。
2. 「ツァーリ」を自称したモスクワ大公国イヴァン（イ）は、15世紀末に諸公国を征服しそれらの統一を達成し、16世紀にはその孫にあたる「雷帝」が専制政治を強化していった。17世紀に入ると政情は混乱し、いったんはくあ朝により収束をみせたものの、南ロシアでは自治の侵犯に対してコサックによるステンカ＝ラージンの反乱などがあつた。17世紀末に即位したピョートル1世は、積極的に西欧化を推進した。18世紀後半、啓蒙専制君主の1人とされる女帝エカチェリーナ2世²⁾は東方への進出も図つた。
3. ロシアはナポレオンに対抗するためオーストリアと連合したが、1805年にアウステルリッツの戦い⁴⁾に敗れた。さらにプロイセンと連合したが、1807年フリートラントの戦いで敗れ、同年7月、ティルジット条約を結んだ。この条約によりロシアは大陸封鎖令への協力を求められたが、これを無視したため、⁵⁾（ロ）年、ナポレオンのロシア遠征をまねいた。ロシアはこれを敗走させ、翌年には諸国と同盟し、ライプチヒにおいてナポレオンを敗北させた。ナポレオン戦争後、ロシアの青年将校たちは、憲法制定などを要求して武装蜂起⁶⁾したが鎮圧された。
4. ロシア軍は（ハ）年にオスマン帝国と開戦し、クリミア戦争が勃発した。この戦争ではイギリスとフランスおよびイタリア統一を目指す北イタリアのくい王国がオスマン帝国を支持した。ロシアは黒海最大の軍港であるくう要塞の攻防戦に敗れ、クリミア戦争はパリ条約をもって終結した。また、「東方問題」でゆれるバルカン半島では、1877年にオスマン帝国のスラヴ系民族の弾圧にロシアが干渉し、ロシア＝トルコ戦争が勃発した。これに勝利したロシアは、翌年くえ条約によりブルガリアを保護下におくなど、バルカン半島に勢力を伸ばすが、イギリス、オーストリアがこれに抗議した。ドイツの宰相ビスマルク⁷⁾は、これを調停するため、同年6月にベルリン会議を開いた。

5. 1917年3月（ロシア暦2月）の革命によって帝政が崩壊すると、そこには臨時政府とソヴィエトとの二重権力の状況が生じた。さらに同年11月（ロシア暦10月）には、「多数派」という意味をもつくお > 派の労働者や兵士が武装蜂起し、臨時政府を打倒して、新政府を樹立した。第一次世界大戦後、1929年に勃発した世界恐慌を尻目に、ソ連は第1次5カ年計画および第2次5カ年計画を経て、30年代後半にはアメリカに次ぐ工業生産を誇るようになった。第二次世界大戦後には、いわゆる冷戦時代に突入する。ソ連では1953年3月< か >が死亡し、さらに1956年にフルシチョフが< か >批判を唱えると、その衝撃は東西陣営を駆け抜け、東欧ではこれまでの抑圧体制への不満が¹⁰⁾一気に噴出した。

A. 文中の空所(イ)～(ハ)にあてはまる適切な語句または数字を、それぞれ対応する次の a～d から1つずつ選び、その記号をマークせよ。

- | | | | | |
|-----|---------|---------|---------|---------|
| (イ) | a. 1世 | b. 2世 | c. 3世 | d. 4世 |
| (ロ) | a. 1808 | b. 1810 | c. 1812 | d. 1814 |
| (ハ) | a. 1850 | b. 1853 | c. 1856 | d. 1859 |

B. 文中の空所<あ>～<か>それぞれにあてはまる適切な語句をしるせ。

C. 文中の下線部1)～10)にそれぞれ対応する次の問1～10に答えよ。

1. 『『どうだ、ピョートル、まだ見えないか?』1859年5月20日、…』との書き出しに始まる『父と子』を描いた作家を、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。

- | | |
|------------|-------------|
| a. ゴーゴリ | b. チェーホフ |
| c. トゥルゲーネフ | d. ドストエフスキー |

2. グリンカなどとともに国民楽派に属し、組曲「展覧会の絵」やオペラ「ボリス＝ゴドゥノフ」で知られるロシアの作曲家を、次の a～d から1つ選び、その記号をマークせよ。

- | | |
|------------|------------|
| a. シェーンベルク | b. スメタナ |
| c. バルトーク | d. ムソルグスキー |

3. エカチェリーナ2世は、プガチョフの反乱鎮圧後、国内では農民と貴族に対してどのような政策をとったか、1行でしるせ。

【以下余白】